

いかなる苦難も断じて負けるな 「心の財」は壊せない 勇氣を持って 希望を 持て

きょう3・16

名誉会長がメッセージ



池田大作先生

大聖人は、「大悪をこ(起)れば大善きたる」(御書1300ページ)と御断言になられました。

きょう「3・16」は、恩師・戸田城聖先生が、この世から一切の不幸と悲惨を無くすために、「広宣流布」を後継の青年に託された日でありました。一段と強く広宣流布を誓願し、共々に励まし合い、支え合いながら、この大災難を乗り越え、勝ち越えてまいりたい。

断じて負けるな！ 勇氣を持って！ 希望を持って！ と祈り叫んで、私のメッセージとさせていただきます。

(2011年3月16日付聖教新聞)



※東日本大震災が発生した2011年、聖教新聞3月16日付に掲載された第三代会長・池田大作先生のメッセージを再掲します。

このたびの東日本大震災に際し、被災なされた皆様方に、重ねて心よりお見舞いを申し上げます。
大地震・大津波より6日目。安否を確認できない方々も多数おられます。
皆様方の疲労も、さぞかし深いことでしょう。体調を崩

されぬよう、そして十方の仏菩薩から守りに護られますように、私も妻も、全国の同志も、世界の同志も、一心不乱に題目を送っております。

わが身をなげうって救援・支援に尽力くださっている役員の方々、さらに地域の依怙依託の皆様、誠にありがとうございます。どうぞございます。

「一国の王とならむよりも、一人の人を救済するは大きな事業なり」(『啄木全集 第7巻』筑摩書房)とは、

東北が生んだ青年詩人・石川啄木の叫びでありました。

私は最大の敬意と感謝を表します。

御書には、災害に遭っても「心を壊る能わず(心は壊せない)」(65ページ)と厳然と示されています。

「心の財」だけは絶対に壊されません。

いかなる苦難も、永遠に幸福になるための試練であります。すべてを断固と「変毒為薬」できるのが、この仏法であり、信心であります。

また、逝去なされたご親族

やご友人の追善回向を懇ろに行わせていただいております。本当に残念でなりません。生命は永遠であり、生死を超えて題目で結ばれています。

妙法に連なる故人は必ず諸天に擁護されて成仏され、すぐに近くに還ってこられます。これが仏法の方程式であります。

日蓮大聖人の御在世にも「前代未聞」と言われる正嘉の大地震がありました。人々の悲嘆に胸を痛められ、大難の連続の中、「立正安国」という正義と平和の旗を敵として打ち立ててくださったのであります。